（別紙3）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　TODAY is New Life宮前平			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	56	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　2月　28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育室のスペースは広くはないが、様々な運動器具が用意されている。 ・午前と午後で2回の運動プログラムがあるが、毎日違う種類のものに取り組むため、児童が飽きない配慮をしている。	事故防止や離設防止の観点から、申し送りの時間に個別担当や職員の配置を事前に決めている。	事故0を目指して、環境整備やマニュアル整備に取り組む。
2	法人内に放課後等デイサービスの事業所があることで、職員間で児童の情報共有を綿密に行い、スムーズに移行ができるように配慮している。	児童発達支援管理責任者が関係者会議に参加したり、保育所等への見学や電話での共有を行い、協力して児童への支援をしている。	保護者様のご要望があった時に園訪問や関係者会議に参加するが、全ての児童にできていないので、こちらからアプローチしていく。
3	個室が2部屋あり、集中できる環境で抜き出しで学習に取り組んだり、クールダウンできる場所として利用できる。	毎日、全員が環境整備の時間を10分取って、事業所の清潔に努めている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同法人の放課後等デイサービスとの連携はできているが、就学先の小学校との情報共有は行なえていない。	利用児童の就学先の小学校等へ伺いすることができていない。	事業所を知っていただくためにパンフレットを持参してお伺いする。
2	送迎等の兼ね合いで当日中に情報共有の時間が取れず、申し送りが翌日になっている。	送迎から戻る時間が就業時間ぎりぎりになっている。	保護者様のご要望に配慮しながら送迎の時間を調整して、終礼を実施できるようにする。
3	日によって利用者数の増減はあるが、個別での配慮が必要な児童が利用する時は人員が不足している時がある。		個別対応が必要な児童が通所する日を事前に把握し、職員の勤務を調整したり、他店舗からのヘルプに来てもらう依頼を事前に行う。